

重点課題①

「暮らしづくり」をみんなですすめます

商品委員会では、一つひとつの商品をより深く学び合えるように、役割を見直し、生産者さん、お取引先との信頼関係を深めてきました。



商品委員会の様子

組合員さんからの食べ方をご紹介



参加組合員さんの声

黄身の色は、鶏の食べるエサの色らしい。卵はもろにエサの影響を受けるんだと思いました。たまごの消費量は多いと思いましたが、1年間に日本人が325個も食べているのには驚きました。さくらたまごはエサから気をつけてくれたので安心です。

半熟卵をそうめん!

そうめんに半熟の卵をのっけて、COOPのストリートつゆをかけて、葱葉の天ぷらをのせ、ゴマをふって食べる!!(^^)!!

PHFとは?

ポストハーベストフリーの略で、エサとなる原料の収穫後、保管や輸送のための農薬を使わないという意味です。



さくらたまご(PHF) (農)東山産業(三木町)さんより「たまごづくり」のこだわりについて商品委員会で学びました



組合員の皆さま、いつもコープの産直さくらたまご(PHF)をご利用いただきましてありがとうございます。私たちは、『おいしくて安心して食われる卵をお届けしたい』という想いのもと、日々、ヒナや親鶏たち、そして産まれた卵と向き合っています。コープがかわでしか購入できないコープの産直さくらたまご(PHF)を、今後ともよろしくお願いたします。

農業組合法人 東山産業 志渡聡一郎さん

おたがいさまの活動が県下に広がるよう支援しています。『おたがいさま高松』に続き、昨年『おたがいさま中讃』の活動が開始されました。くらしの中の困りごとを手助けすることにより、地域の中でおたがいを支えあう活動として進めています。

おたがいさま中讃の応援事例をご紹介します



畑を耕している様子

2013年6月～2014年5月末までのおたがいさま中讃の活動状況

| | |
|-----------|----------------|
| ・ 応援者登録数 | 153名 (うち男性23名) |
| ・ 応援時間 | 1617時間 |
| ・ 応援人数延べ | 888名 |
| ・ 利用者人数延べ | 270名 |

「おたがいさま中讃」は昨年6月に設立し1年を迎えました。地域の中で、必要とされる「おたがいさま」を目指して頑張っています。 私たちができることは些細なことですが、利用者さんと応援者さん、双方の笑顔を見せていただくことが嬉しくて、やりがいを感じています。これからも、沢山の出会いの中で、人とのつながりを大切に活動していきます。

おたがいさま中讃 代表 森貴代美さん



森 貴代美さん(右) 濱田 基洋子さん(左)

「秋祭りまでに畑を耕して欲しい」 10年間放置していた畑をどうにかして欲しいと相談があり、草刈り機と、耕運機をそれぞれ持っている応援者さん二人に依頼していただきました。 広い畑は見違えるようきれいにになり、応援者さん達は「大変だったが、きれいに なつていく畑を見て気持ち良かったとのこと。利用者さんも、「きれいにしてくれて嬉しかった。早速チューリップの球根を植えて花が咲くのを楽しみにしていると、双方の嬉しい顔が目に見えて活動でした。」



おたがいさま高松 おたぼん おたがいさま中讃 ももちゃん

くらしおもしろ会ではメンバーが組合員や主婦という立場で参加し、商品を利用して生み出した疑問や知りた いことを実際に調理して解決し、新たな発見につなげています。

くらしおもしろ会の中で一番話が広がった「調理済みおでん」

2月2回のまいごで掲載しました

アボカド ホクホクしていてお手のようです。

ミニトマト おでんの色どりがきれいで華やか!

焼きとり(鶏) 香ばしさが残ってやわらかい! タシモコクがです。

わてび(家味) さっぱりしていて意外とあじも。家に常備しているから便利。

うどん おでんのしめはやっぱりうどんてしよ!

調理済みおでんと一緒に3~5分煮込めばカラフルおでんの出来上がり!! 中画 (P.8-9) のおでん特集をご覧ください。

調理済みおでんに「焼きとり」「ミニトマト」「アボカド」を入れたのは目から鱗でした。その上、「わてび」を付けて食べたので、おどろきの連続です。しかも、美味しい!早速、「味噌・からし・わさび」が我が家のおでんの定番になりました。

食べたことのない具材にはなかなか挑戦できませんが、みんなでチャレンジすれば怖くない?と感じ、焼き鳥、トマト、アボカドを入れた試食を作りました。まいごぶなどにも掲載し、多くの反響をいただきました。



メンバーの皆さん

くらしおもしろ会は、職員と地域理事が気になる商品、買ってみたけれど注文に至らない商品などを出し合って交流しています。実際に調理して試食してみると、より身近に感じられ、使い方やアレンジの仕方など話 がどんどん広がります。 これからもいろんな商品を試して、自分が体験したワクワク感を組合員のみならずにお伝えしていける会にしていきたいと思 います。

普通寺エリア 地域理事 尾平 美子さん

東日本大震災支援として、四国4生協合同の取り組み(お 遍路コープ支援隊)による岩手ふれあいサロンへのお菓子 やメッセージのお届けや、くらし応援募金を通じての支援 活動などを継続しました。

お遍路コープ支援隊



いつもおいしいお菓子とお心づかい ありがとうございます。

くらし応援募金

共同購入の注文書で募 金にご協力いただいたくらし応援募金は、「福島の子ども保護プロジェクト」に活用されました。



茨城県で行われたプラネタリウム見学と つくばの里山学校体験

震災以降、皆様から寄せられた募金は (2014年3月末) 累計で **82,979,560 円**になりました。 ※くらし応援募金、食べて応援募金など

東日本大震災から3年。組合 員さんから寄せられた募金に よる岩手の被災地へ毎月届けら れるお菓子とメッセージは、仮設 住宅で暮らしている被災者の方 だけではなく、ボランティアに 入っている岩手生協の組合員さ んにとっても支えになっていま す。 私たち一人ひとりが、いつまで も忘れない。遠い四国の地からも 支援しているという想いを持ち 続けること、そしてその想いを つなげていくことが大切ではない かと思います。

普通寺エリア 地域理事 西根 三枝さん



重点課題②

「買う立場」での事業をすすめます

人と人をつなぐ、暮らしがより豊かになる共同購入・個配事業

担当者ニュースが広がり、配達時に会えない組合員さんへの情報提供としても生かされるように取り組みました。親しみやすい読まれるニュースになってきています。

ひまりっくん

自分の家に出来たヒマワリが2mを超える大きさになったんですよ」と写真入りで紹介。

えっ、すごいな~! その種って、出来たらもらえる? 家で育てたい!

ニュースを見た組合員さん



大川センター 総谷 隆さん

子どもとものごと、家庭菜園のことなど、少しでも自分のことを知ってもらえる内容でニュースを作っています。ヒマワリの写真を載せたことをきっかけに、種をプレゼントしたりして、組合員さんとの距離が近くなりました。 配達時に会えない組合員さんからも、「いつも楽しく読ませて頂いています」などの声も頂けるようになりました。

職員が学び合い、知恵が生かされる運営

コープ観音寺では、全員でアイデアを寄せ合い協力して、温かい雰囲気のお店作りをすすめています。四季折々の行事や季節感を楽しんで頂ける「おもてなし」をしています。

父の日に向けての試食の様子 母の日に続いて、父の日メニューを考えて、試食によるおもてなしの取り組みを行いました。



行楽おすすめスポット紹介の様子 楽しい行楽がイメージできるコーナーをつくりました。近隣の「お花見スポット」も掲示しました。

コープ観音寺では、組合員さんとの繋がりを大切に、スタッフ総勢35名のアイデアを寄せ合い、チームワークでお店作りをしています。 観音寺に来られる機会があれば、是非「コープ観音寺」にお立ち寄り下さい。皆様の御来店、スタッフ一同、心よりお待ちしております。

コープ観音寺 店長 中西行宣さん



店長 中西 行宣さん(左) グロッサリー担当 越智 有希子さん(中) レン担当 伊瀬 典子さん(右)